ファッション通販特集

注目のアパレルEC支援企業

ささげのプロが悩みを解決

商品データ登録に専任チーム

ささげ屋

ささげ屋（東京都品川区）は、数多くの通販サイト運営企業から支持されている。主にEC用の商品撮影・レタッチ・採寸・原稿作成、商品データの成型・サイト登録といった〝ささげ業務〟を専門に行う。創業18年目を迎えた、ささげのパイオニアだ。

ささげ業務は内製化する企業もあるが、とくに中小企業の場合は数人程度でささげに取り組む場合が多く、ECで展開する商品数の拡大などに手が回らずミスが多発したり、本業とは異なる業務のため人の入れ替わりが激しく、ノウハウが蓄積しづらかったりする。

自前でささげの人員を維持し、安定運用を継続するのは非常に大変で、「ささげ業務に関する悩みはアウトソーシングで解決できることが多い」（秋山宙士社長）とする。

ささげの内製化に苦心している企業や、外部の代行会社に任せていたものの品質やスピード面に不満を抱える企業がささげ屋の評判を聞き、まずは部分的に業務を依頼した後、ランニングコストが見合えば全面的に依頼するというケースが多いという。

ささげ屋は首都圏を中心に全国に5カ所の自社スタジオを持つほか、取引先の倉庫やオフィスにも4カ所のスタジオを開設してスタッフが常駐。ささげ業務を請け負う通販サイト数は年間150サイト以上で、実績とノウハウは十分だ。

撮影自体はプロ仕様のタイリング能力を重視する。また、さまざまな商材・ブランドのささげ業務を担っているため、トレンドを意識した商品の見せ方を現場が自然に身に付けているのも強みだ。

加えて、コロナ禍でECモールに新規出店する企業が増えたが、データ登録については各ECモールの仕様に精通していないと出品が遅れる場合もある。その点、ささげ屋は各モールに精通した商品登録の専任チームを抱えているため、スピーディーでミスのない商品情報を作成できる。

ECモールとの連携ツールは多々あるが、各モールの仕様は頻繁に変わり、結局は人の手を介したアナログ処理が発生する。社内の担当者が異動したり、辞めてしまったりすると、思わぬところでサイト運営が停滞するリスクがあるという。

また、商品動画の需要の拡大も顕著で、東京・五反田の本社オフィスが入るビルに空室ができたため、ワンフロア体制に増床。動画撮影ができるブースを増やした。家電系の動画コンテンツや、自社ECに掲載するモデル着用動画の撮影など、高まる動画作成ニーズに応えられる体制を整えた。

なお、通常5～7月はファッション商材のささげ業務は閑散期に当たるが、今年は取引先ブランドの店頭で回復傾向が強まり、コロナ禍で削減していた品番数を戻し始めている。ささげ業務の依頼が多く入っているという。

カメラマンは商品が魅力的に見えるポイントを常に意識して撮影する